

国際化対応講演会開催

7月19日(月)外国文化の理解を深め、コミュニケーションツールとしての英語を認識するために、霧島市のALT(外国語指導助手)を会社に迎え、国際性を向上させるための講演会を開催しました。講演会の前には、各部署の担当者が普段使い慣れない英語と格闘しながらも、それぞれの業務の紹介をしました。

テーマは「日本での苦勞と感動、そして喜び」

"Challenges, Impressions, and Joys in Japan."です。

講師はElizabeth Harballさん(米国モンタナ州出身の23歳女性)です。

Elizabethさんに日本語を指導してこられたNPO法人 霧島英友会の近藤理事長も同席しました。

講演会の様子は愛知県の分室とTV会議システムで結ばれ、社員約50名が参加しました。

Elizabethさんが、写真を多用したパワーポイントを使いながら、比較的ゆっくりとした口調で説明していたおかげで、英語ながらも非常にわかりやすい講演会となりました。

日本の印象として、公共の場や道路がきれいなことや、車や建物の入口等全てが小さいこと、また、日本人は礼儀正しく親切だといったこと、日本語の難しさやゴミを出す時に分別で苦勞したこと等が日本語も交えて紹介されました。

講演会の後、社員が英語で質問すると、Elizabethさんの難しい表情が、通じた瞬間にこやかな表情に変わり、社員自身も英語が通じたことを実感できた様子でした。

■会社見学風景



内装設計部にて



CAE室にて



屋上の暴露試験場にて

■講演会&交流会



講演中のElizabethさんと近藤氏



講演に聞き入る社員一同



質問に答えるElizabethさん

以上